

論点等説明シート

事業名

地域包括ケア「見える化」推進事業

予算の状況
(単位:百万円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
予算額(補正後)	304	246	285	302	
執行額	304	246	285		
執行率	100%	100%	100%		

事業についての論点等

(事業の概要)

地域包括ケアシステムの構築に向け、介護・医療関連情報について、全国・都道府県・市町村・日常生活圏域別の特徴や課題、取組等を、各保険者が客観的かつ容易に把握できるようにすることにより、これらの課題に基づいた介護保険事業計画の策定等を支援するためのシステムを整備・運営する。

<「見える化」システムの主な機能>

- ①現状分析機能
⇒介護保険レセプト等情報及び公的統計を用いて提供される介護・医療の指標群を時系列の推移や他の地域と比較することで、地域の現状及び問題を把握する。
- ②施策検討機能
⇒各自治体で行われている地域包括ケア構築に向けた先進的な取組事例の検索・閲覧を通じて、課題解決のための取組事例の共有・施策の検討を実施する。
- ③将来推計機能
⇒介護保険事業計画の策定に当たり必要となる介護サービス見込み量、保険料基準額の推計を実施する。
- ④実行管理機能
⇒介護保険事業(支援)計画における計画値に対して、実績値がどの程度乖離しているかを分析する。

<成果目標及び成果実績>

定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
							年度	4年度
「見える化」推進事業 全保険者がシステムを利用すること	保険者のシステム利用割合 (将来推計機能により提出した保険者数/全保険者数×100)	成果実績	%	100	100	100	-	-
		目標値	%	100	100	100	-	100
		達成度	%	100	100	100	-	-

(論点)

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、保険者の利用状況や意見等を踏まえ、本システムをより効果的・効率的に活用する方策について検討するべきではないか。
- ・成果目標(アウトカム)を保険者のシステム利用割合としているが、介護保険事業計画の策定の支援に資するよう、より適切な目標を設定するべきではないか。